

2020年11月27日

原料費調整制度に基づく2021年1月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2021年1月検針分の単位料金を、2020年12月検針分と比べ、1 m^3 (45MJ) につき1.03円 (消費税込) 下方に調整いたします。

今回の調整は、2020年8月～2020年10月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34 m^3 のガスをお使いになる標準家庭で2020年12月検針分と比較して、35円 (消費税込) ガス料金が下がります。

2021年1月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22 m^3	料金表B 23～223 m^3	料金表C 224 m^3 ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/ m^3)	112.15	104.78	97.41
(参考) 12月 調整単位料金	113.18	105.81	98.44

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34 m^3 (45MJ/ m^3)	2020年 12月	2021年 1月	増減
適用料金(円/月)	4,521	4,486	▲ 35

- ・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- ・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2020年7月～2020年9月 の平均 (12月検針分)	2020年8月～2020年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	16,630	15,410	▲ 1,220
LNG	34,360	31,500	▲ 2,860
LPG	39,480	40,660	1,180
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 10,700	▲ 11,900	▲ 1,200

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 31,500 \times 0.4414 \\ \text{+LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 40,660 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 15,412.58$$

↓(10円未満四捨五入)

$$15,410 \text{ 円/t}$$

■原料価格変動額の算定

$$15,410 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \text{▲ } 11,940 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$\text{▲ } 11,900 \text{ 円/t}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \text{▲ } 11,900 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0858^{*1} \\ &= \text{▲ } 10.22 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2020年 12月	2021年 1月	増減
適用料金(円/月)	4,521	4,486	▲ 35

・標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(115.00円)} + \text{▲ } 10.22 \text{ 円} \times 34 \text{ m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) ↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。